（様式１）

申請日　令和3年　　月　　日

大阪教育大学長　　殿

所　　属　学　部（昼間・夜間）／
大学院（昼間・夜間）／　教職大学院　／　専攻科

学　籍　番　号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

本　人　氏　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（自署）

令和３年度　後期分授業料免除申請願

私は，下記理由により，令和３年度後期分授業料免除の申請をいたします。
なお，結果が判明するまで授業料の徴収を猶予願います。
また，選考資料として必要な学業成績については，私の大学での成績を使用されることに同意します。

理　　由

◆１～３のうち，自分の申請理由と一致する番号に〇をしてください。
　３を選択した場合は，該当する災害の種類に〇をつけてください。
◆（家庭事情）については，本人が家庭事情を詳しく記入してください。
　記入のない場合又は簡潔すぎる場合は不備とみなし，申請を受け付けないことがあります。
◆主たる家計支持者が無職・失職の場合は，（家庭事情）にその間の生活費の出所を詳細に記入してください。

１．経済的理由によって授業料の納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる者
２．令和２年１０月から令和３年３月までの間に学資負担者が死亡し，授業料の納付が著しく困難であると認められる者
３．本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，授業料の納付が著しく困難であると認められる者
　　災害の種類　（　風水害　／　その他（　　））

（家庭事情）

＊1　全員 → 授業料徴収猶予について　※（　徴収猶予を希望します。・徴収猶予を希望しません。）
※いずれか該当する方を〇で囲んでください。

＊2　裏面の「高等教育修学支援新制度への申請状況に関する申告」も記入してください。

（様式１　裏面）

高等教育修学支援新制度への申請状況に関する申告

令和３年度後期授業料免除申請にあたり，高等教育修学支援新制度の申請状況について，下記の通り申告します。

記

（該当する部分にチェックを入れてください。）

□　大学院生・専攻科生のため，高等教育修学支援新制度（日本学生支援機構　給付奨学金）の対象ではない。

□　現在，高等教育修学支援新制度（日本学生支援機構　給付奨学金）の奨学生である。
（奨学生番号　　－　　－　　）

□　以下の事由に該当するため，高等教育修学支援新制度に申請することができない。

□　日本国籍を有しておらず，かつ在留資格が「法定特別永住者」「永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「定住者」以外
※　確認のため，在留カード等，在留資格を確認できる書類の提示を求めることがあります。

□　過去に高等教育修学支援新制度の適用を受けたが，学業適格認定により「廃止」となった

□　高等学校卒業から大学に入学するまでの期間が２年を超えている（主に編入学者）
※確認のため，後日，学歴等に関する書類の提出を求めることがあります。

□　大阪教育大学留学規程に基づき本学が留学を認め，修業年限内に留学を開始したことにより，修業年限を超えている。
（ただし，修業年限を超えた１年間に限る）

□　保有資産が２，０００万円（生計維持者が１名の場合は１，２５０万円）を超えるため，高等教育の修学支援新制度に申請
※申請ができなかった旨の書類（スカラネット入力画面等）を添付してください。

□　令和３年度後期の高等教育修学支援新制度（日本学生支援機構　給付型奨学金）に申請する予定である。
なお，９月２４日（金）までに申請（申請書の提出，スカラネットによる入力，マイナンバー提出）が行われなかった場合は，授業料免除の選考対象とならないことを確認しています。

本　人　氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（自署）